



おすすめ品種紹介 第62回

全農 営農情報・システム推進室では、生産者にあらためて定番としておすすめしたい品種・新定番となりうる品種について、種苗会社にアンケートを実施いたしました。毎号、担い手生産者向けのおすすめ品種を品目ごとにご紹介いたします。

変わった野菜

個性豊かな変わった野菜の魅力をご紹介します。粘りと栄養価の高さで人気のオクラ、芳醇な香りと上品な甘みを持つメロン、ホクホクとした食感が人気のかぼちゃ、みずみずしく爽やかな甘みが魅力のすいか、やさしい風味と彩りを添えるえんどうなど、食卓を彩るひと味違う品種を厳選しました。それぞれの特長や栽培の工夫にも触れながら、その奥深い魅力をお届けします。

極濃緑で日持ちがよい早生品種



オクラ
ずーっとみどり
(株)サカタのタネ

低節位から着果する早生品種。小葉で節間が詰まり、草丈がやや低いので、作業性がよく密植に向く。果実は濃い緑色で、やや胴が張る。日持ち性がよく、店持ちする。

栽培のポイント

温暖地や暖地のハウス、トンネル～露地栽培向け。生理障害が発生しにくい品種であるが、イボ果や曲がり果の発生を抑えるために基肥は控えめにし、追肥や摘葉で適度な草勢を維持する。

手のひらサイズの可愛いメロン



メロン
ころたん ※苗販売のみ
(種子販売なし)
(株)サカタのタネ

黄金色の果皮が特長的なネットメロン。丈夫で栽培しやすい。果肉は鮮やかな緑色で、クセのない爽やかな甘み。平均果重は500 g前後でやや小ぶり。タネの部分が多く、皮ぎわまで食べられるため、可食部が多い。

栽培のポイント

ハウスやトンネルを利用した被覆栽培を行うことで、果実品質と収量の向上をねらえる。定植～10節までの子づる整理、着果後のかん水・追肥など、小まめな管理で草勢の維持に努める。離層が確認できる頃が収穫適期。

品種	作型	地域	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
			上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
ずーっとみどり	トンネル、ハウス	温暖地・暖地				○		■	■	■	■	■	■	
	露地					○		■	■	■	■	■	■	
ころたん ※苗販売のみ (種子販売なし)	ハウス	温暖地・暖地				▼		▼	■	■	■			
	トンネル (雨よけ栽培)					▼		▼	■	■	■			
ニムラサラダ スナップ	春まき	寒冷地			○			○	■	■	■	■	■	
	秋まき	一般地・暖地									○	■	■	■
	越冬(ハウス)		■	■	■	■	■	■	■		○	■	■	■
	春まき			○		■	■	■	■					

○：播種 ■：収穫 ▼：定植 ■：トンネル

莢ごと食べる実えんどう



えんどう
ニムラサラダスナップ
ヴィルモランみかど(株) (ニムラサラダ 1号)

莢肉は柔らかく、甘みが強い良食味の極早生品種。節間が短く、低節位から安定して着莢し、多収性に優れる。分枝は少なく、主枝を中心に結実するため、管理

性が高く、株間5～10cmの密植栽培に適する。

栽培のポイント

播種適期が広く、夏～春まで作付けできる。ハウスでは最低温度5℃あれば栽培可能。初期は8～10節（越冬長期では～12節）まで摘花し、草勢をつけることが重要。株元から発生する子づるは早期に除去し、主枝を大きく育てる。

大きくなっても柔らかで濃い緑色



オクラ
ロングスターオクラ
中原採種場(株)

濃い緑色で柔らかな莢を持つ大長五角オクラ。Lサイズに揃い、イボ果や曲がり果の発生が少なく、秀品率に優れる。収穫適期が長く、15cm程度まで肥大しても柔らかさを保つため、取

り遅れに強く、増収が期待できる。直売所販売にも適する。

栽培のポイント

発芽適温は25～30℃と高く、低温条件では発芽不良や初期生育の停滞を招く。本葉3枚頃に定植し、日当たり・排水のよい圃場で栽培し、適切な追肥とかん水による草勢維持、摘葉による通風確保および適正な肥培管理が高品質・多収の要点。

クリーミーでとろけて甘い



バターナッツ(かぼちゃ)
クレマズッカ
トキタ種苗(株)

果重は1kg前後で、果皮はつやのある黄褐色。果肉は濃いオレンジ色、肉質は粘質で甘みがあり、食味がよく、貯蔵性に優れる。高温時でも草勢が強く、露地栽培でつくりやすい。

栽培のポイント

2～3番果を連続収穫するために、適宜追肥をあたえて草勢を維持する。収穫後は貯蔵して、秋遅くまで利用できる。親つるを本葉4枚時に摘芯して子つる3本ほどで栽培すると、1つる2～3個着果し、多収が期待できる。

突き抜ける爽快感！



黄肉大玉すいか
スィナップル
ナント種苗(株)

高糖度とほのかな酸味による爽やかな味わいの黄肉大玉すいか。果重は8～9kg前後で、糖度は14度をめざせるスペックを持つ。草勢はやや強めで、6～

7月収穫の場合、開花後46日程度で収穫に至る。

栽培のポイント

低温期での花粉の発生がやや劣るため、交配前から保温に努める。草勢が強い傾向なので、低温期や肥沃地では基肥は減肥を推奨。様子を見ながら追肥で加減する。

品種	作型	地域	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
			上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
クレマズッカ		寒冷地			○	▼	■	■	■					
		一般地		○	▼	■	■	■	○	▼	■		■	■
		暖地	○	▼	■	■	■	■	○	▼	■		■	■
ロングスターオクラ	年内～春どり(ハウス)	一般地	■	■	■	■	■	■	■			○	▼	■
	初夏～夏どり(トンネル・露地)				○	○	▼	■	■	■	■			
	秋～冬どり(ハウス)							○	▼	■	■	■	■	■
スィナップル	夏どり	一般地		○	▼	○	▼	■	■					
	夏どり	寒冷地			○	▼	○	▼	■	■				

○：播種 ■：収穫 ▼：定植 ■：トンネル